

優良工事報告

H17府中四谷3丁目低水護岸工事 イメージアップ優良工事報告

新潟県土木施工管理技士会

(株)本間組現場代理人 山澤 道雄

(共同執筆者) 小山 光則

1. 工事概要

本工事は、多摩川堤防侵食集中対策の一環として、東京都府中市四谷地先の多摩川左岸において、法枠コンクリートブロック張り及び根固めブロックによる低水護岸工事でした。(図-1、写真-1)

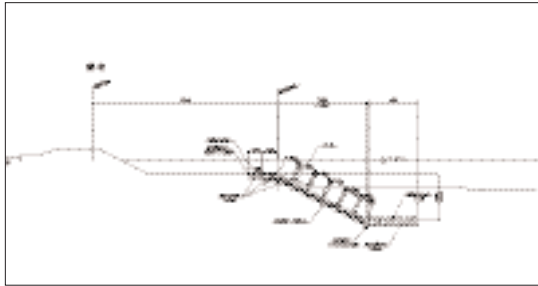


図-1 低水護岸標準断面図



写真-1 完成写真

2. 工事内容

施工延長	674m
河川土工(掘削)	46,800m ³
法覆護岸工(現場打法枠)	1式
法枠コンクリート	1,945m ³
連節ブロック張	4,314m ²

高水敷保護工(かごマット)	1,146m ²
根固め工	
根固めブロック工(3t型)	2,266個
構造物撤去工	1式
仮設工	1式

発注者：国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所

工期：平成17年10月25日～
平成18年3月31日

3. 現場周辺の環境等

現場周辺は、京王線多摩川橋梁付近に位置し、住宅、学校、公園が密集しており、堤防天端にはサイクリングロードが通っています。河川利用者は年間約13万人が見込まれている地域です。この道路を利用して地域のマラソン大会等が開催されています。又、高水敷には河原系の希少植物が自生していました。

4. 工夫・改善点

現場の状況を考慮して施工計画段階で工事検討会を開催し、地域住民への周知及び広報活動を推進するための方策を検討しました。(図-2)

5. 第三者災害防止

1工区内を3社で高水護岸、低水護岸を施工することとなるため、相互に連絡を取りながら災害を未然に防止するため協議組織を設立して安全管理活動、地域広報活動を実施しました。

工事看板の統一レイアウト採用(写真-2)
統一職長ヘルメット採用、仮囲い・工事看板のクッション設置(写真-3)



図-2 アイデアチャート



写真-2 事業説明看板（工区内に3箇所設置）



写真-3 標識、仮囲いの第三者安全対策

(写真-4、5)

住民の関心が高い生育魚類や植物については、移転や移植により環境を保全することをパンフレットにより地域にお知らせしました。(図-3)

地域の公民館や公会堂を利用して安全協議会や建従者教育を開催して地域の方々とのコミュニケーションを図ることができました。(写真-6)

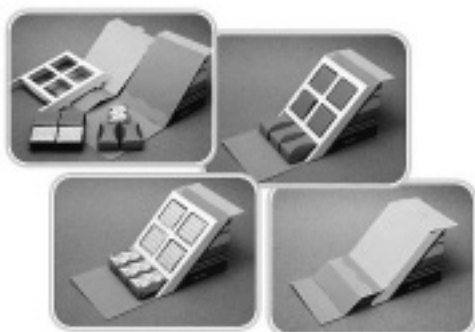
堤防天端の仮囲い沿いに電光式標識を設置し工事情報を提供してサイクリングロード利用者の便を図りました。(表示情報：位置、時刻、気温、発注者名、施工会社名、安全メッセージ。)(写真-7)

ホームページにより工事の目的や工法等の情報を提供し近隣住民や河川利用者が理解を深めていただけるよう内容を選定しました。又、インターネット上に検索キーワードとして「低水護岸」が登録され、関連情報を含めて多くの情報が集まるようになりました。(図-4)

地域行事開催時の工程調整 等

6. 創意工夫

工事の内容を分かりやすく説明するために、低水護岸のペーパークラフトを考案し、近隣の小学校に教材として配布しました。



写真一 4 低水護岸のペーパークラフト



写真一 6 地域施設の利用（災害防止協議会）



写真一 5 ペーパークラフトの配布



写真一 7 電光表示板による情報提供



図一 3 樹木移植のお知らせ

とする意識が完成まで持続できたこと。

最後に、これから担当する工事においても、地域の方々と話し合いながら自身の「見る目」を養い、工事を進める上で役立てていきたいと思ひます。（図一 4）

(<http://www.fuchu-tamagawa.jp>)

7. 感想

今回の受賞は、以下の成果によるものであると思ひます。地域の方々が工事に関心と理解を示し、現場を暖かく見守って下さったこと。

厳しい作業環境の中、元請け下請けの区別無く関係者が「無災害でよい物を創ろう」



図一 4 ホームページによる工事情報提供